

テーシス形式の博士論文表紙見本

注意：

- 項目およびその順序はこの通りとし、フォント等のデザインおよびフォーマットは原則的に自由とする。

神奈川歯科大学大学院歯学研究科
2026年度 博士論文

和文タイトル
神奈川歯科大学の多機能化と評価法

大学院教授会（合否判定）
の年月日を記入

2026年8月19日

神奈川 一郎
Ichiro Kanagawa

申請者氏名

- アルファベットの場合は下にカタカナ名を併記する。

神奈川歯科大学大学院歯学研究科

環境病理学分野 注2

槻木恵一教授 指導

所属と指導教授名
を併記する。

注2：正式な所属名を記載する

基となる論文がある
場合記載する。

このテーシスは、槻木恵一，神奈川太郎，神奈川歯科大学口腔科学講座の現状解析，神奈川歯学 100：1-12，2065．を基に新たなデータを加えたものである。

論文内容要旨 (明朝体 12 ポイント、ダブルスペース 35 文字×40 行程度)

論文審査要旨

本審査委員会は申請者が博士 (歯学) の学位に十分値するものと認めた。

2026年 8 月 19 日 ← 大学院教授会 (合否判定)
主 査 : の年月日を記入
副 査 :
副 査 :

目次 (必須ではない)

緒言	1
実験材料 (対象) および方法	10
結果	20
考察	30
結論	40
謝辞	41
文献	42
表および図	
表 1	50
表 2	51
図 1	52
図 2	53

本文

本文から通しページを付ける



緒言 (明朝体、12ポイント、ダブルスペース、35文字×20行程度)

実験材料 (対象) および方法

結果

考察

結論

ページ番号

・ 本文から通しページを記載



1

謝 辞

文 献 (神奈川県歯学の記載法に準じる。)

★ 図と表は原則1ページにつき一組（例：図が a, b, c の3枚あるような場合は同じページに配置する）とする。

★ 説明は全て図および表中に記載する。

表 1

50 ← 図、表のページ番号

改ページ

表 2

51

改ページ

図 1

52

改ページ

図 2

53